盛本芳久 2023年 めざすもの

まじめにぶれずに20年　子どもの未来のために

やさしく、鋭く 県政に物言う議員でいたい

■ 教育 education

どの子も希望を持って楽しく学ぶ

- 点数学力にしばられず楽しく学ぶ学校をつくる。
- 多様性を認め、自分も他者も大切にする人を育てる。
- 35人学級（低学年30人）の完全実施を速やかに実現する。
- 法整備で教職員を増員し、学校にゆとりと活力を生み出す。
- 学校教育を支えるスタッフ職員の正規雇用を進める。
- 小中高、地域の学校を可能な限り残すための支援を行う。

全国学力テスト順位より楽しく学ぶ学校へ
インクルーシブ教育への条件整備
中学校も35人学級に 小学校低学年は30人に
定員増→多忙化改善→教員志願者増
教員確保
デジタルもアナログも
先生が足りない ピンチ

■ 人権 human rights

一人ひとりが大事にされ、差別されない

- 障がい者、外国人、LGBTQなど、すべての差別とヘイトを許さない。
- ジェンダー平等をめざし、あらゆる場で男女の参画を進める。
- 格差と貧困を解消に向け、立ち直りを丁寧に支援するしくみを充実させる。

「誰ひとり取り残さない」
多様性が活力を生む
日本のジェンダーギャップ指数（男女格差）世界116位/146
男女共同参画

■ 福祉 welfare

子ども・若者から高齢者まで大切にされる

- 働く子育て世代を支えるための、保育・教育への経済的支援を進める。
- 子ども、障がい者、高齢者の医療費負担軽減のとりくみを進める。
- 社会の基盤を支えるエッセンシャルワーカーの働く環境を改善する。

社会で子育てを
子育ての直接給付、給食費無償化
大学授業料値下げ
保育士配置基準改善
保育士、介護士賃金UP

NO WAR!

■ 平和 peace

武力より外交と友好交流

- 戦争できる国へと突き進む政権の憲法改悪をさせない。
- 物言えぬ社会にしないよう、市民の表現の自由や意見表明を保障する。
- 文化・スポーツ・経済など民間国際交流の活動を積極的に進める。

ミサイル「抑止力」は本当に戦争抑止になる？
防衛費倍増は生活を直撃
増税「ほしがりません勝つまでは」戦前か？
国債
ハト
9条守れ ピンチ
外交と民間交流こそ抑止力

■ 環境 environment

自然に配慮した開発

- 自然環境保護、生物多様性の確保、自然を生かした産業を支援する。
- 能登の世界農業遺産を国の「みどりの食料システム戦略」に位置づける。
- トキの放鳥を成功させ、人間と自然の調和を進める地域として発信する。
- 白山の世界ジオパーク認定を実現し、ナチュラリストの呼び込みを図る。

食料自給率UP 農業者支援
有機農業・給食推進
H_2O
EARTH
地球温暖化対策 待ったなし
CO_2

■ エネルギー energy

脱原発、地域を豊かにする再生可能エネルギー

- 原発の廃炉を計画的に進め、再エネ・水素エネルギーなどへのシフトを進める。
- 停止していても起こりうる原発事故に対応する避難計画の精査と現実的訓練を行う。
- 地元住民の同意なしの大型風力発電の建設を認めない制度の整備を求める。

原発の運転延長、新増設
方針転換に異議
志賀原発を廃炉に！
トキ 能登の風車は多すぎる
省エネ、再エネ、断熱建築支援
志賀原発、事故が起きたら被曝せずに逃げられるのか

■ 地域 local

地方で心豊かに生きる

- 地方としての石川の魅力発信で企業移転、移住・定住をさらに増やす。
- デジタル環境の整備を進め、リモート・テレワークの適地として発信する。
- スローライフ、エコツーリズム、SDGs実践の先進地となるとりくみを進める。

ISHIKAWA
能登、加賀、金沢 地域の特徴と魅力発信
がんばれ ILAC（就職・定住サポートセンター）
自然、食、人、文化を生かした宿、ツーリズム提案
本気でSDGs実行

■ 労働 work

生きがいをもって、人間らしく働く

- 最低賃金の引き上げや労働法制の整備を進め、労働者の生活の改善を進める。
- 労働者を大切にする企業・事業所のとりくみを広く紹介する。
- 違法な労働時間や解雇・雇い止め、ハラスメントに厳しく対応する。

1500円/時 全国一律の最賃をめざす
ワーク・ライフバランス
男女差別のない企業に
ブラック企業、職場根絶
ECO agri

■ 文化 culture

伝統と創造、県民が参加し発展させる文化

- 石器時代から今日までの文化の変遷と発展を学び共有する研究を進める。
- 伝統技術、伝統芸能の継承発展とともに新しい文化の創造を積極的に支援する。
- 一般市民の文化・スポーツ活動を支援し、学びと体験の場を提供する。

伝統・継承・発展
歴史・文化・スポーツ
アマチュアからプロまで
子どもから高齢者まで

YTSUSHIN YTSUSHIN YTSUSHIN YTSUSHIN YTSUSHIN YTSUSHIN YTSUSHIN YTSUSHIN YTSUSHIN

YOSHIHISA NEWS
2023.■.■. vol.43

Y通信 盛本芳久 NEWS

・・・この半年 PICK UP!

ウクライナ侵攻長期化

- ロシア対NATOの様相、武器供与で戦闘激化か
- 仲介外交で停戦実現、難民受け入れ必要

学力テスト事前対策NHKなど取り上げる

給特法改正を視野に文科省教職員勤務実態調査

- 学校の多忙化改善遅々として進まず
- 持ち時数減のための大幅な定数改善は急務
- 給特法改正で超過勤務（残業）手当の支給を

志賀原発敷地内断層、規制委員会調査終える

- 再稼働適合性審査、有識者「活断層評価」はどこへ
- 志賀原発裁判、11年口頭弁論38回を数える

防衛と原発 政策大転換を国会議論なく閣議決定

- 安保関連3文書、「専守防衛」に背く「敵基地攻撃能力保有」
- 防衛費倍増・増税　財源より前に「抑止力」を議論すべき
- 「脱原発依存」から原発運転60年超、建替、新増設に

「教員不足」マスメディア次々と報道

- 教員志願者減の一因は学校多忙化にある
- NHK、東洋経済、日本経済新聞、羽鳥モーニングショーも特集
- 法に基づく教員配置もできずに、異次元の少子化対策とは

石川県35人学級、国計画より1年前倒し発表

子ども未来
発行責任者　盛本芳久
金沢市香林坊 1-2-40　教育会館内
TEL.076-223-1444
http://molimoto.com

盛本よしひさ ホームページ
http://molimoto.com/

盛本芳久 facebook
https://www.facebook.com/yoshihisa.morimoto.52

志賀原発を廃炉に！訴訟 原告団 ホームページ
https://shika-hairo.com/

石川県議会ホームページ
https://www.pref.ishikawa.lg.jp/gikai/index.html

歴史を繰り返さないために

80年前、戦争に備えるために政府や企業などが呼びかけた「戦時下の標語」を検索してみました。いくつか紹介します。

征けぬ身は せめて育児で 御奉公
（ラクトーゲン本舗）

産めよ殖やせよ　（厚生省）

ありたけの金を御国へ捧げませう
（鳥取県）

贅沢は敵だ　（国民精神総動員本部）

強く育てよ 召される子ども
（日本カレンダー株式会社）

飾らぬわたし 飲まないあなた
（日本カレンダー株式会社）

国債は 総力戦の 従軍証
（日本カレンダー株式会社）

欲しがりません
勝つまでは
大政翼賛会

沈黙を 守る心が 国護る　（小倉石油株式会社）

昨今、政府から発せられる言葉を見ると、この80年前の標語と同じではないかと感じます。もう日本は戦争へ向かっていると理解しなければならないようです。戦争で儲ける者がいます。犠牲になるのはいつも貧しい市民です。また儲けようと考えている人々が世界にも日本にもいます。政権政党の議員の方々は過去の戦争をどう学んできたのでしょうか。今度は勝とうと思っているのでしょうか。

もう一つ当時の標語を。

国策に 理屈は抜きだ 実践だ
（日本カレンダー株式会社）

防衛費倍増も原発推進も異次元の子育て支援も国策ですが、私は議会でも選挙でも理屈をこねたいと思います。

盛本芳久

県議会 ビシッ！と追求

令和4年 9月21日予算委員会で質問したことをお伝えします。

旧統一教会問題について

盛本 **安倍元首相の銃撃による死亡という事件に端を発して旧統一教会の活動の反社会性が次々と明らかになっている。今なお異常な資金集め、あるいは正体を隠して勧誘をする、洗脳する、高額な献金の強要、こういうことが続いているということは大変な驚きであった。現在、政府も被害防止・救済に向けて議論を行っている。しかし、被害は石川県民にも及んでいると考えなければならない。被害を根絶するために、必要な法改正も進めていくべきではないかと思うが、知事の考えは。**

知事 旧統一教会の問題については、国において法務大臣を議長とする「旧統一教会」問題関係省庁連絡会議を開催し、合同電話相談窓口の開設を行うとともに、消費者庁に霊感商法等の悪質商法への対策検討会が設置され、有識者による検討が行われている。私としても、悪質商法等の被害に遭われている方々を救済し、新たな被害者を生まない対策を講じることは大切であると考えており、国において様々な施策を進めていくことは重要である。法改正についてもその必要性も含めて国において検討されるべきものと考えている。

盛本 **今、県は石川県消費生活支援センターで商品やサービスに係る苦情や相談を受け付けているが、宗教団体に関する案件はどの程度あるのか、７月の事件前後で変化があったのか聞きたい。**

生活環境部長 市町を含めた県内の消費生活相談窓口に寄せられる相談のうち、宗教団体に関するものについて直近５年間の総数は、平成30年度は０件、令和元年度は３件、令和２年度は２件、令和３年度は０件、令和４年度は一昨日の時点で４件で、その内４～６月末までで１件、事件後の７月以降で３件となっている。

盛本 **宗教団体への商品、サービスとは違って、勧誘とか献金に関する相談は、今どのように対応しているのか。**

総務部長 全国共通ダイヤルが設けられており、具体的には、犯罪による被害に関するものは警察相談専用電話シャープ9110、消費者トラブルに関するものは消費者ホットライン188（いやや）、差別に関するものはみんなの人権110番、法的トラブルに関するものは法テラス・サポートダイヤル、どこに相談してよいか分からないものは行政相談「きくみみ」の行政苦情110番といった、それぞれの分野ごとの窓口において電話による相談のほか、インターネットやメールによる相談も受け付けている。

盛本 **これから選挙や政治活動において、候補者と旧統一教会との関係はどうあるべきか、知事自身の経験も振り返って所見を聞きたい。**

知事 基本的には一人一人が判断されるべき。私としては、現在、旧統一教会は社会的に様々な問題があると指摘されており、選挙の候補者は旧統一教会と関係を持たないことが適切ではないかと思っている。

志賀原子力発電所について

盛本 **１号機、２号機停止をしてもう11年が過ぎ、これまで断層の調査や新規制基準への適合性審査が行われている。知事が議会ごとに提案説明の中で原発について触れているが、これまで９年間変わらなかったこの知事提案説明の文章が、今回変わり、『科学的な根拠に基づく～～～その次の、「厳正かつ迅速な審査が行われるよう体制の拡充強化を図るとともに、審査結果はもちろん、審査の方法や手続を含め、地元住民はもとより」』となった。文言の変更の意図は。**

知事 原子力発電所については、もとより安全確保が第一であり、「迅速な審査」の文言を盛り込んだのは、原子力規制委員会による適合性審査が既に相当期間に及んでいることを踏まえた上である。安全確保を大前提として審査体制の拡充強化を要請したものである。

盛本 **県は志賀町と周辺自治体との協議や相談を行って、今後の志賀原発の在り方について北陸電力に質していく必要があると思うが、知事の見解を聞く。**

知事 現在、志賀原発については、原子力規制委員会において法律に基づく新規制基準への適合性に関する審査が行われている。規制委員会には、厳正かつ迅速な審査が行われるよう審査体制の拡充強化を図るとともに、審査結果はもちろん、審査の方法や手続を含め、地元住民はもとより国民の理解と信頼が得られるよう、説明責任をしっかり果たしていただきたい。北陸電力においても、安全確保を大前提に今後ともしっかりと安全対策に取り組んでいただきたい。

入試業務に関する多忙化解消について

盛本 **入試業務の調査書の簡素化をぜひしてほしい。石川県の高校入試の調査書は他県と比べると量が多い。他県では大分簡素化されているが、県教委はどう考えているのか。**

教育長 調査書については、指導要録に基づいて作成をすることとなっている。この指導要録への所見等の記述に当たり、文章で箇条書等により端的に記述する、必要な情報を精選して記述するとされており、県教育委員会としても端的に記述するよう、各市町教育委員会に周知をしているところである。

YTSUSHIN YTSUSHIN YTSUSHIN YTSUSHIN YTSUSHIN YTSUSHIN YTSUSHIN YTSUSHIN

活動報告

●8月10日　原水禁集会

●8月15日　終戦の日街宣

●8月22日　いしかわ環境フェア

●8月25日　志賀原発訴訟原告団　原発防災市町に質問書提出

●8月28日　盛本芳久と星を見る会

●8月29日　日米共同訓練反対集会

●9月4日　国葬反対、徹底解明・旧統一教会集会

●9月17日　「国葬」弔意の強制反対を県に申し入れ

●10月15日　石川県教育研究集会

●10月16日 石川の技能まつり

●11月3日　憲法公布76年集会

●11月8日　皆既月食、天王星食観測

●11月10日　沖縄黒百合の塔60周年慰霊式に参加

●11月23日　石川県原子力防災訓練
●11月26日　国立能登青少年交流の家（旧青年の家）開所50周年記念式典
●11月29日　教育総研「学力テスト」抗議、県「評価問題」で申し入れ

●12月1日　県議会勤続20年表彰受ける

●12月9日　未来石川議員会会派予算要望提出

●12月11日　第九・千鳥の曲に尺八メンバーで出演

●12月19日　県議会、教育充実を求める意見書全会一致で採択

●12月27日
原発防災アンケート
結果で会見

●12月25日　円光寺こども食堂6周年

●1月5日　連合石川・労福協、平和センター・勤労協新春のつどい
●1月7日　OEKニュー・イヤー・コンサート鑑賞

●1月21日　社民党新春交歓会、平和・脱原発・統一選勝利を誓う